

美和ちゃん新聞

高原学校始まる！

群馬南中学校2学年

今年数年ぶりに復活された南中二学年の高原学校が、去る九月六日より八日までの日程で、榛名高原学校にて開催されました。曇り空のなか私達二年一組三十三名も荒木先生引率のもと、上信バスにて榛名山にむかいました。霧が立ちこめる榛名山で初めの活動は、「ゆうすげの道」より空き缶拾いのボランテニア活動を行いながら、高原学校まで散策する事でした。

立派に行われた入校式

午後一時から高原学校体育館にて入校式が行われました。開会宣言の後、実行委員長さんの挨拶に続き、校長先生の「記録を取りながら高原学校の生活を過ごす」とより意義深い物になる」とのお話がありました。そして最後に南中学校の校歌を全員大きな声で歌い上げ入校式は終わりました。(写真をクリックすると校歌が聴けます)



ついに乗ったぞ！ カッターに・・・



カッターをこぐ生徒達

「よーい、はじめ、いーち、にーい、さーん」カッターは進みます。「櫂上げ」櫂をこがない状態、カッターが交差するとき「櫂立て」を行う事、櫂を船上にて組んでしまう「櫂組み」などカッターを操作する技術を学びました。



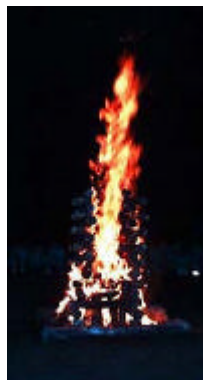
説明を聞く

キャンプファイヤー

午後六時三十分より、お楽しみキャンプファイヤーが始まりました。

第一部は山の神様の入場と祝詞。

燃えるよ燃えるの歌声とともにキャンプファイヤーの点火が行われました。



左の写真をクリックすると音楽が聴けます



第二部はオクラホマミキサーやジェンカなどのフォークダンスを何回も踊りました。又、各クラス有志による主張やざんげも行われ楽しい一時を過ごしました。最後は口ウソクを手にしたキャンドルサーピスで終わりました。



クラスが一つになったレクレーション大会

九月七日午後六時三十分開始したレクレーションの出し物は、クラス対抗形式をとっており協力と団結の連続でした。風船運びから始まり、団体縄跳び、二人三脚と私たちがのクラスは終始トップの座でしたが、借り物競走で大きく得点を失い、雑巾掛け競争、スプリンリレーで五組に抜かされ第二位となりました。しかし、クラスが一つになり燃え、熱くなつたこの経験は私達二年一組にとつて大変貴重な財産になったと思います。万歳、万歳、二年一組！

